ガスの事故を防ごう！

ガスによる火災や爆発事故は依然として多く、その75%はガス使用者の初歩的な"うっかり"ミスから起きています。

①ガスもれ事故の原因は？

ガスもれ事故の多くは「点火したつもり」のうっかりミスなどや埋設管などの腐蝕によるものです。

ガスもれ事故を防ぐために警報器を取り付けましょう。

・閉めたつもり
・つけたつもり
・すぐ戻るつもり

②家庭の中の安全器具

LPガスにも様々な安全器具があります。今回は、それらをご紹介しましょう。各ご家庭にはどのようなものが付いているか、確認してみませんか？

ガス放出防止器

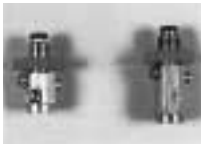
ガス放出防止器は、大規模地震、豪雪などで容器転倒や配管が破損した時に大量のガスもれを防止し、被害の拡大を防ぎます。

■張力式

地震などによりLPガス容器が転倒した時、壁とガス放出防止器に連結されたクサリが引っ張られ、安全ピンがはずれ、ガスを自動的に遮断します。

■過流式

地震などの災害時、配管などが破損し、所定流量以上のガスもれが発生した時、ガスを自動的に遮断します。



ヒューズコック

ヒューズコックは、元栓の中にヒューズボールなどが入っていて、配管が破れた時などに大量のガスが流れていると、このボールがガスの通路を塞いでガスを止めます。

ガス放出防止型容器バルブ

ガス放出防止型容器バルブは、大規模地震、豪雪などで容器転倒や配管が破損した時、大量のガスもれを防止し、被害の拡大を防ぎます。

これは、容器バルブにヒューズボールが入っていて、配管が破れた時などに大量のガスが流れると、ヒューズボールがガスの通路を塞ぎ、ガスを止めるからです。

ハイセーフ

ハイセーフは、ガスメーターの内部に取り付けられたマイコンと遮断弁の働きで、ガスもれなどでガスの流れに異常があるとガスを遮断したり、地震を感知するとガスを止めたりする多機能なガスメーターです。

立ち消え防止装置・天ぷら油過熱防止機能付きこんろ

立ち消え防止装置と天ぷら油過熱防止機能が付いているこんろです。

煮こぼれや風で万一火が消えると、安全装置が働いて自動的にガスを止めたり、天ぷら油の過熱を察知するとガスを止めたりします。

コンセント継手付きゴム管

ガスコンセントは、ソケットをガスコックのプラグに差し込むだけでワンタッチで確実に接続できるほか、取付け、取外しも簡単にできる大変便利で安全性の高い接続具です。

プラグに装着された器具側のソケットがはずれた場合、プラグに内蔵された弁によってガスが遮断されます。

ガスもれ警報器

LPガスは空気より重いので、床に近い所に取り付けてあります。

ガスもれを感知するとブザーや声で知らせます。

ガスもれ警報遮断装置

警報器がガスもれを感知すると、ブザーなどで知らせ、一定時間鳴り続けると自動的にガスを止めます。

不完全燃焼防止機能付き湯沸器

換気不足や器具の目詰まりなどで不完全燃焼が起きると、自動的にガスが止まるようになっています。